

小山工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	英語表現演習 I
科目基礎情報						
科目番号	0009		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義・演習		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	建築学科		対象学年	1		
開設期	通年		週時間数	1		
教科書/教材	Mainstream English Expression 1 Second Edition					
担当教員	岡田 晃					
到達目標						
1. 動詞の活用、5文型、現在形、過去形が理解・使用できる。 2. 未来形、進行形、完了形が理解・使用できる。 3. 助動詞、受動態、不定詞が理解・使用できる。 4. 動名詞、分詞、関係代名詞が理解・使用できる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	動詞の活用、5文型、現在形、過去形を十分に理解し、使用できる。		動詞の活用、5文型、現在形、過去形が理解・使用できる。		動詞の活用、5文型、現在形、過去形が理解できない。	
評価項目2	未来形、進行形、完了形を十分に理解し、使用できる。		未来形、進行形、完了形が理解・使用できる。		未来形、進行形、完了形が理解できない。	
評価項目3	助動詞、受動態、不定詞を十分に理解し、使用できる。		助動詞、受動態、不定詞が理解・使用できる。		助動詞、受動態、不定詞が理解できない。	
評価項目4	動名詞、分詞、関係代名詞を十分に理解し、使用できる。		動名詞、分詞、関係代名詞が理解・使用できる。		動名詞、分詞、関係代名詞が理解できない。	
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 ③						
教育方法等						
概要	各レッスンで学習する文法項目を習得し、それを各グループ内でテーマに沿った内容で使用する。					
授業の進め方・方法	上記1～4について：各試験の平均が60%以上を満たしている場合、若しくは各試験の平均と、提出課題、小テスト、授業への取り組みの内容と回数を設定水準に基づいて行った評価との合算が、本校所定の基準を満たしたと認められる場合、目標到達とする。					
注意点	とにかく間違いを恐れずに積極的に英文に取り組んでください。英語における表現力アップのための基礎的な科目なので積極的な取り組みを期待しています。わからない点は、授業内外で確認すること。また、上記に示した内容の変更する場合がありますので注意すること。変更する場合は予め授業中に指示します。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	Nice to Meet You		文法項目の習得	
		2週	Nice to Meet You		文法項目の運用	
		3週	What Kind of Music Do You Like?		文法項目の習得	
		4週	What Kind of Music Do You Like?		文法項目の運用	
		5週	My Treasure		文法項目の習得	
		6週	My Treasure		文法項目の運用	
		7週	試験前復習		これまでの復習	
		8週	中間試験		試験	
	2ndQ	9週	This Coming Weekend		文法項目の習得	
		10週	This Coming Weekend		文法項目の運用	
		11週	Subjects I'm Taking		文法項目の習得	
		12週	Subjects I'm Taking		文法項目の運用	
		13週	Are You in a Club?		文法項目の習得	
		14週	Are You in a Club?		文法項目の運用	
		15週	試験前復習		これまでの復習	
		16週				
後期	3rdQ	1週	The School Festival Is Soon		文法項目の習得	
		2週	The School Festival Is Soon		文法項目の運用	
		3週	Getting to Asahi Senior High School		文法項目の習得	
		4週	Getting to Asahi Senior High School		文法項目の運用	
		5週	The Store I Often Go To		文法項目の習得	
		6週	The Store I Often Go To		文法項目の運用	
		7週	I Feel Sick		文法項目の習得	
		8週	I Feel Sick		文法項目の運用	
	4thQ	9週	Volunteer Activity		文法項目の習得	
		10週	Volunteer Activity		文法項目の運用	
		11週	Japanese Food		文法項目の習得	
		12週	Japanese Food		文法項目の運用	
		13週	Countries Around the World		文法項目の習得	
		14週	Countries Around the World		文法項目の運用	
		15週	試験前復習		これまでの復習	

		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	英語のつづりと音との関係を理解できる。	1		
				英語の標準的な発音を聴き、音を模倣しながら発声できる。	1		
				英語の発音記号を見て、発音できる。	1		
				リエゾンなど、語と語の連結による音変化を認識できる。	1		
				語・句・文における基本的な強勢を正しく理解し、音読することができる。	1		
				文における基本的なイントネーションを正しく理解し、音読することができる。	1		
				文における基本的な区切りを理解し、音読することができる。	1		
				中学で既習の1200語程度の語彙を定着させるとともに、2600語程度の語彙を新たに習得する。	1		
				自分の専門に関する基本的な語彙を習得する。	1		
				中学校で既習の文法事項や構文を定着させる。	1		
			高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を習得する。	1			
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	1		
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	1		
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	1		
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	1		
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	1		
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	1		
				毎分100語程度の速度で平易な物語文などを読み、その概要を把握できる。	1		
				自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができる。	1		
				毎分120語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できる。	1		
				自分や身近なこと及び自分の専門に関する情報や考えについて、200語程度の簡単な文章を書くことができる。	1		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	10	0	10	100
基礎的能力	80	0	0	10	0	10	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0